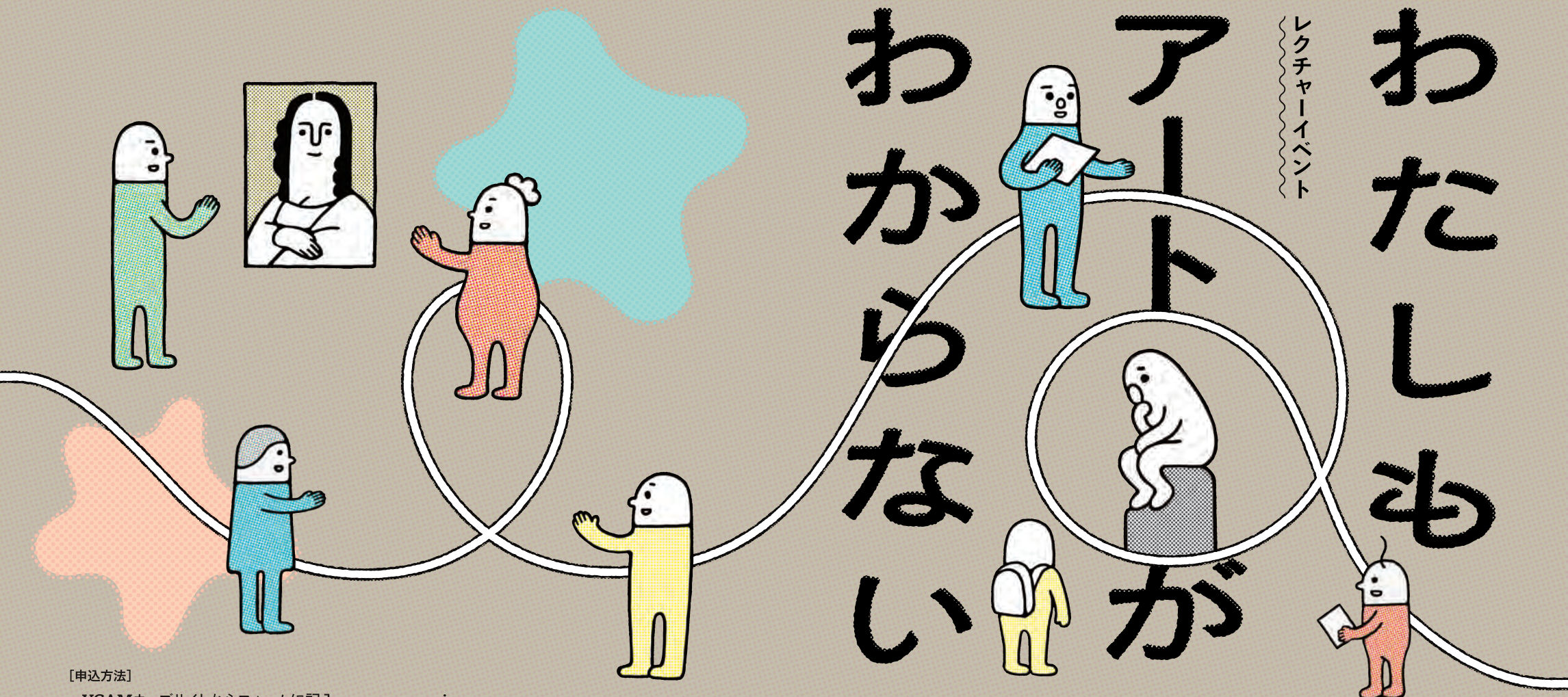


わたしも

レクチャーイベント

アートが わからない



【申込方法】

- ・ YCAMウェブサイトからフォームに記入。www.ycam.jp
- ・ QRコードからもアクセスいただけます。
- ・ 申込多数の場合は抽選となります。

【託児について】

- ・ 有料となります。
- ・ 託児をご希望の方は、各開催日の一週間前までにチケットインフォメーションへお申込みください。



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

〒753-0075 山口市中園町7-7
TEL: 083-901-2222
www.ycam.jp
information@ycam.jp

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団
助成：令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
後援：山口市教育委員会
共同開発：YCAM InterLab
企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]



vol.1

「わからない」を
紐解く

2021年

10/9 | 土 | 14:00-16:00

講師=会田大也

vol.2

「わからない」からはじまる
コミュニケーション

2022年

2/5 | 土 | 14:00-16:00

講師=福のり子

対象：中学生以上 定員：各回 35 名 会場：山口情報芸術センター[YCAM]

参加無料(要申込/抽選) ※一日のみ参加も歓迎!



わたしもアートがわからない

作品鑑賞の奥深さに迫る計2回のレクチャーイベントです。「アートって難しい」「どう鑑賞したらいいかわからない」と思ったことのある方、どうぞお気軽にお申し込みください。

vol.1

「わからない」を 紐解く

講師＝会田大也

YCAMアーティスト・ディレクター
ミュージアムエデュケーター

タイトルにもある「わからない」という感覚は、じつはさまざまな要因にもとづいています。vol.1では、その「わからなさ」の種類を講師の会田大也が分類しながら、作品を味わうヒントを簡単なワークショップも交えて紐解いていきます。作品に関する情報を受け取るだけでなく、「わからない」という感覚を出発点に能動的に作品をみることの面白さをお伝えします。

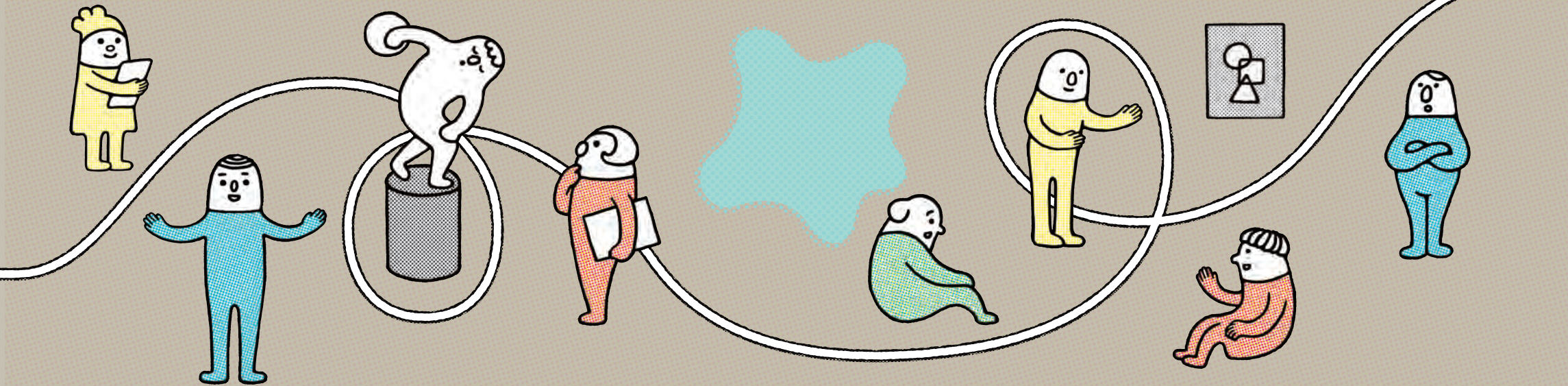
vol.2

「わからない」から はじまるコミュニケーション

講師＝福のり子

京都芸術大学アート・コミュニケーション研究センター所長
美術教育研究者／キュレーター

日常のあらゆる場面で用いられるコミュニケーションを豊かにさせるためには「わからない」という感覚がヒントになるかもしれません。vol.2では、美術史等の知識だけに偏らず鑑賞者同士のコミュニケーションを通して美術作品を読み解いていく「対話型鑑賞法」を用いて、「わからない」からはじまる作品鑑賞の面白さをお伝えします。



会田大也

2003年開館当初より山口情報芸術センター〔YCAM〕の教育普及担当として、メディアリテラシー教育と美術教育の領域にまたがるオリジナルワークショップや教育コンテンツの開発と実施を行う。その後「どうしたら来場者が作品や社会により深く関わりをもつことができるか」ということについての研究、実践を続け、2014年から2019年まで東京大学大学院ソーシャルICTグローバル・クリエイティブ・リーダー〔GCL〕育成プログラム特任助教に就任。その後あいちトリエンナーレ2019ラーニング・キュレーターとして、対話を通じた作品鑑賞ボランティアスタッフの育成に携わる。2020年よりYCAMのアーティスト・ディレクターを務める。



福のり子

専門領域は鑑賞教育学、美術館学、現代写真、キュレトリアル。1991年、ニューヨーク近代美術館（MoMA）で研修員として勤務しているときに対話型鑑賞と出会う。2004年、京都造形芸術大学（現京都芸術大学）教授に就任後、日本の大学で初めて、対話型鑑賞を年間授業に取り入れたArt Communication Project（ACOP）を立ち上げる。また学内のみならず、美術館や教育機関を対象に、鑑賞者の育成及び作品と鑑賞者をつなぐファシリテーターの養成を目的とした講座やワークショップを多数開催。90年代はじめより、インディペンデント・キュレーターとしても活躍し、主に現代写真の展覧会を世界各国の美術館で開催する。共著に『美術館ものがたり』、翻訳書に『なぜこれがアートなの』（淡交社）など。